

環境と経済の好循環専門委員会報告（素案）に対する意見

【2. 好循環への方向と課題】

該当箇所（素案） 【現時点の案】	意見
P 2 (1) 好循環への基盤 好循環をつくる人々 【P 2】	5行目に「環境コストを進んで受け容れる」とあるが、ただでさえ雇用や年金、医療、介護などで将来不安をかかえている多くの国民が環境だけで行動するのか、環境だけでいまの経済状況が良くなる（国民が安心できるようになる）のか疑問。所得が少なければ、高価なグリーン商品の購入へは向かわないのではないか。
P 4 (2) 今から始められる好循環への歩み くらしを彩る環境のわざ 【P 4】	12行目（日本発の最先端環境商品）に「再生可能な大気熱をかき集めてお湯を沸かす高効率な自然冷媒ヒートポンプ給湯機も、日本の誇れる環境技術としてCOP9で紹介されています。」を追記されたい。
P 6 (2) 今から始められる好循環への歩み 「もったいない」が生み出す資源 【P 7】	17行目（循環を支えるパートナーシップ社会の形成）に「ごみの減量からリユース・リサイクルをさらに促進するためには」の部分について、製品の長期使用や中古品市場の整備を行うためには、一時的にでも経済成長率がマイナスになることも受け容れなければならないが、考えを明らかにされたい。自分は、不必要なものを生産しないだけならば、マイナス成長であっても国民生活にとってマイナスになるとは考えない。
P 7 (2) 今から始められる好循環への歩み 自然がはぐくむところとちから 【P 8】	12行目（エコツーリズムの発展）、エコツアーよりも都会に緑地を増やすことが重要。都市再開発といって高層ビルを建設するよりも、緑地公園をつくるべきである。

【 3 . 環境と経済の好循環が実現した 2 0 2 5 年の将来像】

<p>該当箇所（素案） 【現時点の案】</p>	<p>意 見</p>
<p>P 9 (1) 日本の経済社会 (環境と経済の好循環) 【 P 1 0 】</p>	<p>環境誘発型ビジネスが生み出す雇用について、好循環で雇用が増える産業があっても、同時に衰退する産業があるので、全体としての雇用はどうなるのか示されたい。</p>
<p>P 9 - 1 2 (2) 地域とライフスタイル 【 P 1 0 - 1 3 】</p>	<p>「地域とライフスタイル」について、農業や農村はどんな状態になるのか、農林水産業や食料自給率に関するビジョンを示されたい。 また、11頁「夏になると川辺から涼しい風が吹き抜けて」について埋め立てられた大都会の川は復活するか、12頁「牛乳びんの回収」についてリターナブルびんを復活させる政策はどのようなものか、それぞれ示されたい。</p>
<p>P 1 0 (2) 地域とライフスタイル 自然の恵みが人を呼ぶ里 【 P 1 1 】</p>	<p>7行目【そんな里に住む52歳のKさんの声】の「バイオマスのコージェネレーションでお風呂の湯や電気を供給しているのも、」を「バイオマスを燃料とする燃料電池でお風呂の湯や電気を供給しているのも、」に書き換えられたい。</p>
<p>P 1 0 (2) 地域とライフスタイル ものづくりのわざが循環をつくる街 【 P 1 1 】</p>	<p>「ものづくりのわざが循環をつくる街」10行目の「地球温暖化への理解が進む中で、」の後に、「地域の分散型エネルギーネットワークが構築され、再生可能エネルギーコージェネレーションが効率的に活用されており、」を追記されたい。</p>
<p>P 1 1 (2) 地域とライフスタイル ものづくりのわざが循環をつくる街 【 P 1 2 】</p>	<p>5行目【そんな街に住む35才のSさんの声】の「燃料電池コージェネレーションで暖房・給湯や電気の一部をまかなったり、」を「給湯・暖房に使う熱は高効率ヒートポンプを使って大気熱を「リサイクル」したり、」に書き換えられたい。</p>

<p>P 1 1 (2) 地域とライフスタイル ものづくりのわざが循環をつくる街 【 P 1 2 】</p>	<p>5行目【そんな街に住む35才のSさんの声】に「～まかなったり、家での燃焼がなく、かつ高気密高断熱で生活環境の向上を 図った省エネ住宅を採用し、そこにエネルギー管理サービスを便利に使って 手間暇を掛けずに上手な省エネを実現しています。」を追記されたい。</p>
<p>P 1 2 (3) 環境が豊かさを招く世界と日本 【 P 1 4 】</p>	<p>【2004年に生まれた21才のTさんの声】にある「途上国」について、Tさんが旅行した「途上国」はどこを想定しているのかご教示いただきたい。</p>

【その他】

<p>該当箇所(素案) 【現時点の案】</p>	<p>意 見</p>
<p>全体</p>	<p>「昔の日本のいいところも取り入れる」ことを明記されたい。最先端の技術革新で解決出来る問題もあるが、それに偏りすぎるのは良くない。昔の日本(江戸時代など)には、自然素材を利用した理にかなったものづくり、それをささえる匠の技、廃棄物を出さない再利用システム、環境保全の農林水産業、自分だけよければ不法投棄をすることを阻止する社会システム、コミュニティなど、参考にすべきものは多々ある。最先端の産業は、自然に還らない素材など新しい問題を生み出す可能性もあり、欲望のままに経済効率でものを つくるのが目指す社会なのか疑問。滅びゆく伝統産業、農村など、総合的に考えないと 真の好循環にはならない。</p>
<p>全体</p>	<p>今回の素案はビジョンを示すだけで、それに向かわせるインセンティブ(政策)は次期環境基本計画に先送りされている。他省庁の所管に踏み込めないということかもしれないが、ビジョンだけでは意味がないので、その実現に向けた政策を明らかにされたい。</p>